

小倉薬剤師会 3月学術研修会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう
お願い申し上げます。

謹白

■事前申し込みの方のみご参加可能ですので、参加ご希望の際は、以下URLより**3月1日(金)** 厳守にてお申し込みください。(お申し込みは会員に限ります)

■視聴用URLの発行について

開催日前に、以下申込みURLよりご登録いただいたメールアドレスへ、視聴用URLをお知らせします。

※開催日前に視聴用URLが届かない場合は事務局まで(093-941-3518) お問い合わせください。

■単位申請について(PECSに変更)

①ご参加いただいた会員様の単位取得は、以下の申込みURLよりご入力いただいた「薬剤師番号」にて申請いたしますのでご入力の際は誤りのないようにご注意ください。※申請後の修正はできかねますのでご了承ください。

②単位取得については入退室が記録されたZoomからの「受講ログ」を研修センターに提出となっております。講演開始時19時前にご入室されたログ記録、および20:30までご聴講いただいたログ記録にて認められます。※ログ記録が1.5時間に満たない場合は単位取得の対象となりません。

記

【日時】 2024年 3月13日(水) 18:45~20:30

【開催方法】 WEB配信(WEB会議ツールを用いたオンライン研修) 研修会

【情報提供】 18:45~19:00

『トレリーフOD錠』 住友ファーマ株式会社

【PS】 1. ヒューマニズム(倫理): ①-1~3、③-11・12

2. 医薬品の適正使用(安全性、有効性、経済性) ②-59~61

座長 学術委員 浅田 律子

【講演1】 19:00 ~ 19:45

『精神科医からみたレビー小体型認知症』

演者 特定医療法人豊司会 新門司病院 院長

白川 伸一郎 先生

【講演2】 19:45 ~ 20:30

『パーキンソン病~人生100歳まで楽しく生きる』

演者 音成脳神経内科. 内科クリニック/久留米大学 臨床教授

音成 龍司 先生

共催: 小倉薬剤師会
住友ファーマ株式会社

 SMP-Approved

3月13日（水）学術研修会申込書

↓以下の研修会申込みURLよりお申込みください↓

申込み締切：3月1日（金）迄

<https://forms.gle/rXLM3Pw7ujqWqGUB9>



■PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録はお済みですか？■

PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録が必須となりますので、単位付与を希望される場合は、必ずPECSへの登録完了後、参加申し込みしてください。

日本薬剤師研修センターHP <https://bitly/3vb8RU9>（薬剤師用入口より）

登録完了していない場合や登録内容に誤りがあった場合は、単位が正しく発行されません。免許番号に「中」や「外」が含まれている場合は、その文字も含めてご入力ください。登録内容に誤りがあった場合の単位付与に関して、本会は責任を負いかねますのでご了承ください。

※当講演会で取得したご施設名・ご芳名は、共催製薬会社による医薬品および医学・薬学に関する情報提供、ならびに参加者に関するご確認のために利用させていただくことがございます。また、当刻情報は、共催製薬会社から小倉薬剤師会に開示させていただきます。

<講演要旨>

【講演Ⅰ】

高齢化の進展により認知症高齢者が増加している。レビー小体型認知症（DLB）は、臨床的にはアルツハイマー型認知症、血管性認知症に次いで3番目に多い認知症である。精神科医がしばしば遭遇する高齢者の精神疾患には、認知症、せん妄、気分障害、精神病性障害、睡眠障害などがある。高齢者ではこれらの疾患が重複したり、違う疾患でも同様の症状を呈し診断に迷うことも少なくない。特にDLBは、病初期から幻覚妄想や抑うつなどの精神症状をきたすため、日常診療ではDLBの診断を常に疑う必要がある。DLBは薬剤過敏性が存在するため、精神症状を有する高齢者への薬物療法は慎重を要する。講演では前述した内容を含め、DLBの臨床症状や薬物療法について説明する。

【講演Ⅱ】

理論的には、健康な人でも、多くの方は80歳以上になるとパーキンソン病の症状が出てきて、110歳以上になるとパーキンソン病になると考えられます。パーキンソン病の患者さんは全国で20万人以上になり、65歳以上ですと100人に一人と言われています。ということは皆様の薬局を受診されている患者さんの中にも未治療の早期パーキンソン病患者が隠れているということです。私の40年に及ぶパーキンソン病にかかわる経験と知識を皆様と共有し、早期であっても視診でパーキンソン病を疑える方法をお教えするとともに、長年にわたる適切なトレリーフを含む薬物治療についても言及します。さらに、パーキンソン病はとても不思議な症状が見られます。本日は、拙著「人生100歳健康体操」をもとに、その不思議な症状を動画で示し、さらに日々の運動、パーキンソン病が左右されやすい心、静かなブームになっている魔法のムクナ豆についてもお話します。皆様にとって有益な情報をお伝えし、お役に立てる講義になることを心より願っております。